

令和8年4月 斐伊川水系水質情報

令和8年4月(宍道湖17日・中海13日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μ g/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	5.0	△	平 年 並 み	3.1	△	平 年 並 み	4.0	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.51	△	平 年 並 み	0.37	○	良好(平年並み)	0.32	○	良 好
全リン	上層	0.055	△	平 年 並 み	0.057	×	やや高い	0.040	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	10	△	平 年 並 み	11	△	平 年 並 み	15	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	2,520	△	平 年 並 み	10,700	△	平 年 並 み	10,300	△	平 年 並 み
	下層	2,600	△	平 年 並 み	19,000	×	やや高い	11,500	△	平 年 並 み
溶 存 酸 素	上層	8.0		やや低い	9.1		平 年 並 み	10.0		平 年 並 み
	下層	7.8		平 年 並 み	4.8		平 年 並 み	8.2		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.2	横ばい	4.3	下降	4.6	横ばい
全窒素	上層	0.50	横ばい	0.37	横ばい	0.42	やや下降
全リン	上層	0.047	横ばい	0.050	やや上昇	0.051	横ばい

宍道湖の透明度は0.9mから1.1mと横ばいで、やや悪い。中海の透明度は1.1mから1.8mと上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1.1mから1.8mと上昇し、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%